

## 令和3年度 財務分析の意義と経営改善に必要な視点

講師：株式会社川原経営総合センター  
経営コンサルティング部門  
福祉財務コンサルティング部 安藤 亮



### 【研修内容】

- ・財務分析の意義
- ・経営状態を変えるための視点・考え方
- ・経営戦略に基づいた経営の舵取りの必要性

### 【講師メッセージ】

今年で第6回目を迎える実態調査を通して、自施設の経営状況や相模原市を取り巻く特養経営における課題と対策を把握した上で、経営改善に取り組まれていると思います。

しかしながら、特養実態調査で得られる数値やデータに基づく「財務分析の目的や有効な活用方法」について、法人・施設でどのように考え、活用されていますか？

実態調査の各種経営指標の平均値と比較して、高い・低い状態であればよいのでしょうか？経営指標の数値を「どう解釈」し、その「結果を法人・施設がねらった成果に変える」ためには、何が必要でしょうか？

財務分析は万能な現状分析手法ではなく、

- ①あくまでも過去の結果であること（1年間の経営成績としての決算書に基づくため）
- ②相対評価する数値・データにより、分析結果をみても改善方法が分からないこと
- ③取り組み結果として表れる数字に対する認識にズレが生じること

の3つの前提を理解した上で、法人・施設の意思決定ツールとして財務分析を活用するならば、数値やデータに基づく判断による経営の舵取りの視点として「財務分析のテクニカルな知識」から、もう一歩踏み込む必要があるのではないのでしょうか。

本研修では、財務分析の意義を再確認しつつも、経営改善のために必要な視点や考え方について解説させていただきます。

株式会社川原経営総合センター  
経営コンサルティング部門 福祉財務コンサルティング部 安藤 亮

### 【経歴】

民間コンサルティング会社勤務、サービス業会社設立（共同経営）。主に、経営戦略策定・組織体制構築・財務管理等の実務に従事。平成28年株式会社川原経営総合センターに入社。現在は主に社会福祉法人に対する経営改善支援、組織体制構築支援、財務管理支援、会計指導等に従事。その他に、行政主催の社会福祉法人向けの会計・ガバナンス研修講師や行政指導監査業務支援等に多数従事。